

令和4年度 「住生活月間シンポジウム」 開会挨拶

大変お世話になります。

会長を務めさせて頂く近藤建設株式会社の宇佐見と申します。

皆様に於かれましては、埼玉県住まいづくり協議会に対し、格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

毎年10月は「国民の豊かな住生活の実現」のための「住生活月間」と定められ、様々なイベントが行われています。本協議会に於きましても、毎年シンポジウムを開催し、有識者の方々から貴重な講演を頂いております。本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を鑑み、昨年同様オンラインでの開催といたします。

第一部では、株式会社ロコガイド取締役・暮らし情報メディア「ヨムーノ」編集長 武田史子氏より、
今どき子育て世帯の消費トレンド・住宅に関するニーズ
～一生幸せに生き抜くための「家選び」とは～
と題した講演をいただきます。

第二部では、株式会社住宅産業研究所専務取締役 清水直人氏より、
住宅市場動向と今後の展望
～コロナ集客減、価格高騰、脱炭素・・・今後住宅販売で必要なことは？～
と題した講演をいただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大で私たちの生活、経営環境は大きく変わりました。生活様式や価値観の変化、脱炭素、DX社会へ向かう上での家づくりの進化、技術革新が進んでいます。また、資材の高騰、納期遅延、ロシアのウクライナ侵攻、円安、自然災害の脅威と先行きに対する不安要素が増えています。

今回の講演では、生活と経営という2つの観点から「これからの家づくり」を紐解いて頂きますので、是非参考にしてください。

結びになりますが、このシンポジウムが皆様の豊かな住まいづくりのお役に立つこと、そして、今後のご発展、ご健勝、幸せな生活を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

埼玉県住まいづくり協議会

会長 宇佐見 佳之



埼玉県住まいづくり協議会